

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	AT	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	イタリア
派遣大学	ヴェネツィア大学		
期 間	2025 年 9 月 8 日～2026 年 6 月 23 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	冷房× 暖房○ (壊れて使えず)	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (11 万) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バス) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	20,000 円	自炊・外食費
学用品購入費	0 円	
交通費	5,000 円	定期代
交際費	15,000 円	友人との遊び
その他	40,000 円	携帯の通信費・日用品・旅行代

合計

8 万円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

私は島ではなくメストレに住んでいた。トラブルにより最初の1か月間は駅近くのホステルに住んでいたが、メストレ駅周辺は治安が悪く、物乞いが居るので日が暮れてからは一人で歩かないようにした方がよい。アパートはメストレチェントロという中心地にあり、駅前に比べたら治安は良かったが、夜はどこも一人で歩くには怖い。島の中は、夜でも治安の悪さはそこまで気にならない。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103,930) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**メストレ**)

ベネチアの島からバスで20~30分ほどでイタリア本島側にある地域。スーパーやホテルなどは島に比べて安く、アジアンスーパーもあり、少し離れたところにショッピングモールもあるので生活するのに便利な街だが、駅周辺は移民が多くドラッグをしている人やホームレス、物乞いなどが居て治安が悪い。中心地は駅周辺ほど治安は悪くないが、夜に一人で出歩くことはしない方がよい。

島内は、街灯が少なく道が暗くて怖いことはあるが、メストレのような治安の悪さは感じたことがない。とは言え、観光地でリアルト橋やサンマルコ広場周辺は人も多いのでスリには注意して生活するべきだと思う。物価は観光地なので高く、島内に住むとスーツケースを持ち運ぶのが大変なので不便だと思う。

【学業編】

1. 大学情報

大学	カフォスカリ大学	所在地	Dorsoduro 3246, 30123 Venice
最寄空港	ベネチア・テッセラ空港	空港からの距離	バスで 20～30 分
空港⇄大学	(水上バス・バス) *移動手段		
学生数	約 2 万人	留学生数	1,500 人
学部	経済学部 哲学・文化遺産学部 経営学部 環境科学・情報学・統計学部 分子科学・ナノテクノロジー学部 言語学・比較文化学部 アジア・北アフリカ学部 人文学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	人文学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		・ History of Venice	・ Italian language A1 (practice)	・ History of Venice	・ Italian language A1 (practice)
午後	・ Theories of language education ・ Italian Module A	・ Venetian art and Archaeology ・ 日本語自由会話	・ Venetian art and Archaeology	・ 日本語自由会話 ・ Italian Module A	

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	・ 日本語自由会話		・ Food & Beverage Management (3 rd term) ・ Gender studies (4 th term)	・ Food & Beverage Management (3 rd term)	
午後	・ Italian culture and made in Italy	・ Food & Beverage Management (3 rd term) ・ Introduction to Latin ・ Italian culture and made in Italy ・ Gender studies (4 th term)	・ 日本語漢字添削	・ Introduction to Latin	・ Gender Studies (4 th term)

3. 履修内容

科目	History of Venice		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECTS
授業内容／形態	ヴェネツィアの歴史について、その起源から学ぶことができる授業。 留学生向けに開講されており、講義型の授業		
成績	23/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Venetian art and Archaeology		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECTS
授業内容／形態	ヴェネツィアの美術や考古学に関して学ぶことができる授業。ヴェネツィアの名所の歴史やイタリアにおけるルネサンスの美術について学んだ。 留学生向けに開講されており、講義型の授業だが、2回ほどフィールドワークがあった。		
成績	26/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Italian language for exchange students-Module A-Beginner A1		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECTS
授業内容／形態	A1 レベルのイタリア語を学ぶことができる。イタリアに関する文化の講義を受ける Module A と実践的にイタリア語を学ぶ Language practice の授業に分かれている。 留学生向けに開講されている授業。		
成績	25/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Theories of Language Education		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECTS
授業内容／形態	第二言語習得、外国語・言語教育に関する理論を学ぶ授業。 講義型だがショートディスカッションやオンデマンドの回もあった。		
成績	18/30		
YCU 振替予定	科目	応用言語論 b	
	単位数	2	
	担当教員	水倉 亮	

科目	Food & Beverage Management		
履修期間	3 rd term	単位数	6ECTS
授業内容／形態	ホスピタリティやレストランケータリング企業の飲食部門のさまざまな業務に必要なスキルを学ぶ授業。		
成績	30/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introduction to Latin		
履修期間	2 nd semester	単位数	6ECTS
授業内容／形態	ラテン語の基礎知識を学ぶことができる授業。試験はヴェネツィア内にあるラテン語で書かれた石碑を読むものだった。 留学生向けに開講されており、講義型の授業。		
成績	27/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Italian culture and made in Italy		
履修期間	2 nd semester	単位数	6ECTS
授業内容／形態	<p>イタリアの地理と歴史に関する基礎知識、イタリアの文化や社会の側面に関する知識、イタリアの多様性と Made in Italy の役割について学ぶことができる授業。</p> <p>留学生向けに開講されており、講義型の授業。</p>		
成績	22/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Gender Studies		
履修期間	4 th term	単位数	6ECTS
授業内容／形態	<p>ジェンダーに関する議論の入門で、ジェンダーやセクシュアリティに関して様々な理論を学びディスカッションしていく授業。</p>		
成績	26/30		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回のイタリア・ヴェネツィアでの留学は、私にとってこれまでで最も多くの学びと経験を得ることができた約 10 か月間でした。留学前は、海外で生活しながら英語を学び、様々な文化に触れることを楽しみにしていました。一方で、長期間海外で生活することや、異なる文化や言語の中で生活することに不安も感じていました。実際に留学生活が始まると、言葉や文化の違いによって、自分の思いをうまく伝えられなかったり、思うように行動できなかったりすることもありました。しかし、そのような経験を重ねる中で、完璧な英語を話すことよりも、間違いを恐れずに自分から伝えようとするのが大切だと学びました。また、留学当初、滞在先の寮に入れなくなり現地で新たな滞在先を探すという、最初の一か月目から心が折れる経験をしましたが、そのおかげでトラブルを対処する力が身についたと思いますし、自分自身が大きく成長するきっかけにもなりました。ヴェネツィア大学では様々な国籍や文化的背景を持つ学生と出会い、授業や日常生活の中で多くの刺激を受けました。特に、自分の意見を積極的に伝え、議論に参加する学生の姿は印象に残っています。日本では周囲の様子を気にして自分の意見を伝えることをためらうこともありましたが、留学中は自分から行動しなければ新しい経験や人との出会いを得ることができないと感じ、以前よりも積極的に行動するようになりました。留学生活では楽しいだけでなく、慣れない環境での生活に大変さを感じたり、思うようにいかず落ち込んだりすることもありました。しかし、その一つひとつを自分なりに乗り越えてきたことで、自分自身の成長を実感しています。また、ヨーロッパの様々な国を訪れ、それぞれの文化や歴史、美しい景色に触れることができたことも、この留学で得た大きな経験の一つです。今回の留学で得た出会いや経験、そして学んだことは、これからの人生において大きな財産になると感じています。この留学を通して広がった視野や、新しいことに挑戦する気持ちを大切に、今後も様々なことを学び続けていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学を通して、私は語学だけでなく、自分から一歩踏み出すことや挑戦することの大切さを学びました。また、自分とは異なる価値観に触れることで、当たり前だと思っていた考え方を見直し、多様な視点から物事を考える力も身につきました。授業でも日常生活でも、自分の考えや思いを積極的に伝える学生の姿を見て、私自身も以前より積極的に行動することができました。今後は、留学で得た経験を生かし、生徒一人ひとりが持つ様々な考えや価値観を理解し、寄り添うことができる教員になりたいと思います。また、様々な国を訪れ、美しい景色を見たり、その土地ならではの文化に触れたりした素晴らしい経験を生徒にも伝え、英語を通して新しい世界を知り、様々な経験をしてみたいと思ってもらえるような教員を目指したいです。さらに、イタリア語はヴェネツィア大学への留学が決まってから学び始めましたが、現地でイタリア人の友人ができたことで、今後さらに力を入れて勉強したいと思うようになりました。他にも、ヨーロッパの国々を旅行するたびに、その国の言語や歴史に興味を持つようになったため、今後は英語やイタリア語だけでなく、他の言語についても学びを深めていきたいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

アドバイスは主に二つあります。一つ目は、準備にあたって何事も最悪な想定を考えて計画することです。留学前の書類集めやビザの手配、滞在先の手配など様々な準備がありますが、自分が思っているよりも何倍も早く取り掛かるべきです。重要な書類のコピー等も念には念をと考え予備で何部か持っていました。実際にビザの手配や現地での滞在許可証の手配の際に役に立ちました。手続等はすべてスムーズに進むのが当たり前ではないので、後れを見越してでも間に合うような時期から始めるべきです。二つ目は、自分で環境を作るための努力が必要ということです。ただ留学に行くだけでは、得られるものが少ないと思います。自ら現地の学生の輪や他の留学生の輪に入るなど、チャレンジをして自分で新たな環境づくりのために努力することが必要だと思います。留学に行く理由や目的は様々あると思いますが、自分がなぜ留学に行きたかったのか考えて、目的が達成できるような環境づくりを頑張ってください。